

七月読みとりおけいこ（中）④

名前（ ）

夏の山はくつきりと青くてきれいですよね。京都の山はいつどうやってできたのかお話ししましょう。

といつても、広いのでひとことではかたれないのですが、いくつか紹介しますね。

北山のハイキングコースのあちこちに、まるいまくらのような石がころころしています。これは「まくらじょうよう岩」というもので、約一億七千万年前にそこに海底火山があつたしようこのです。ふん火してすぐ海水につかるので冷やされてコロンと丸い形になります。

くらま山の石灰岩は約二億六千万年前のサンゴの化石をふくみます。

右京区のコノドントという生き物の化石は約三億三千万年前のものです。「と石」の中によく入っています。

学校の中庭でもひろえる石、チャートは放散虫というプランクトンの化石ですが、これは約一億～一億四千万年ほど前のものです。

これらのことから言えることは、京都の山はむかし海だったということです。一億数千万年前まであさい海だったのがだんだん持ち上がり、ずれたりまがつたりおり重なつたりしながら陸になつたのです。

大文字山ではホルンフェルスというかたい石を見ることができます。地表近くまでよう岩が上がつてきていたのでその熱で砂岩や泥岩といった石が固まつたものです。

また、約百万年～四十万年前は氷河がとけて桂や嵯峨あたりまで海水が來ていたことがわかつています。このころ京都にゾウもいたんですよ。深草からゾウの化石が見つかっているのです。もつと知りたくなつた人は、科学センターに行くといいですよ。音読サイン→

①何の話ですか？（ ）

②まくらじょうよう岩は何があつた証拠ですか？（ ）

③なぜまくらのような形になるのですか？（ ）

④くらま山から見つかるのは何の化石ですか？（ ）

⑤ホルンフェルスは何が固まつたものですか？（ ）

⑥コノドントは何の中に入っていますか？（ ）

⑦上の話に何種類の化石の話がのっていますか？（ ）

⑧昔京都を歩いていた今はいない動物は？（ ）

⑨あつてているものに○をつけましょう。（ ）

（ ）チャートという石は放散虫の化石だ。

（ ）と石はコノドントの中に入つてている。

（ ）ハイキングでよう岩をふんでしまうかもしれない。

⑩上の文をよんでも思ったことを五行でかきましょう。

できばえは？

